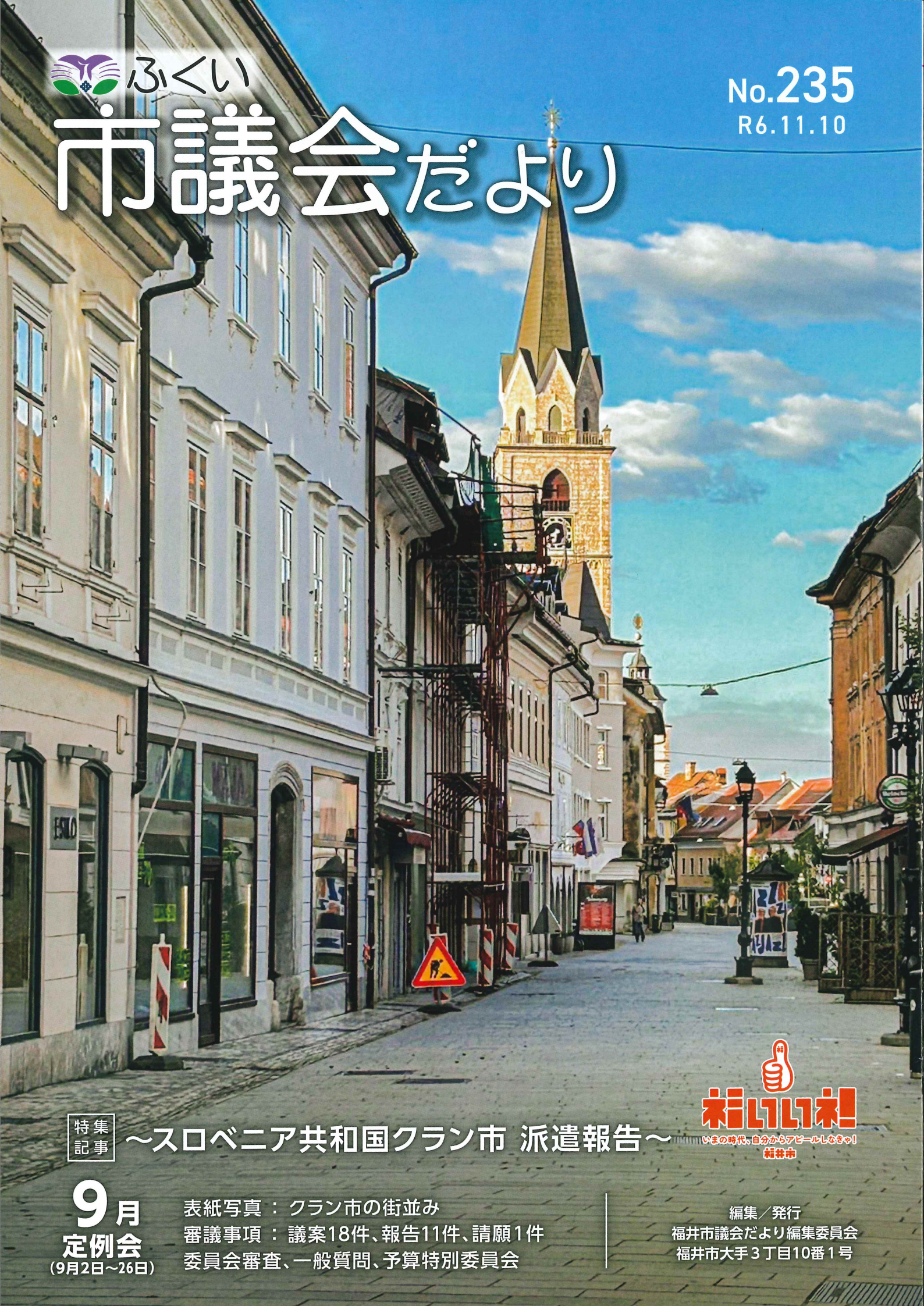




ふくい

市議会だより

No.235
R6.11.10



特集
記事

～スロベニア共和国クラン市 派遣報告～



9月
定例会
(9月2日～26日)

表紙写真：クラン市の街並み
審議事項：議案18件、報告11件、請願1件
委員会審査、一般質問、予算特別委員会

編集／発行
福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号

スロベニア共和国クラン市派遣報告

議長 池上 優徳
 総務委員会委員長 酒井 良樹
 経済企業委員会委員長 榊原 光賀



クラン市遠景(撮影: Andraž Muljavec)



スロベニア共和国 クラン市 Data

	クラン市	福井市
人口	5.7 万人	25.4 万人
面積	151 km ²	536 km ²

スロベニアとの共通点

そば
 スロベニアの1人あたりの年間そば消費量は日本の約3倍で、パンやケーキ、パスタなど、そばを使ったレシピが多くあります。

水仙
 スロベニア北部には水仙が群生しており、毎年5月には水仙祭りが開催されています。



行政



クラン市役所にて、カーボンニュートラルやDXの取組について説明を受けました。住みやすい街づくりを推進する姿勢と先進的な取組については大変参考になりました。

訪問先 クラン市役所

経済

創業支援を行うビジネス・インキュベーターを訪問しました。若手起業家を数多く成功に導いている施設であり、意見交換では成功体験や熱意を聞くことができました。



訪問先 ビジネス・インキュベーター・クラン

文化

図書館や音楽学校などを訪問し、歴史、文化、芸術や自然環境を大切に守り続けようとするクラン市の姿勢を感じました。図書館で開催されていた福井市写真展では、本市の自然や風景の写真、書道作品が展示され、本市の魅力が発信されていました。



訪問先 クラン市図書館、クラン音楽学校、ブルド公園、ヤネス・ブハール記念館

教育

福井市内の学校と交流実績のあるプライマリースクール(小中一貫校)2校、ギムナジウム(高校)1校を訪問し、先生方から、教育に対する熱い思いを伺いました。訪問の際には、ウェルカムボードや楽器演奏など、温かいお出迎えを受けました。



訪問先 (小中校)フランツェ・プレシェーレン校、オレハク校 (高校)フランツェ・プレシェーレン校

観光

クラン市観光文化局を訪問し、クラン市の観光やイベントについて説明を受けました。夏には150を超えるフェスティバルが開催され、街に賑わいを生み出しています。



訪問先 クラン市観光文化局

本市は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、スロベニア共和国のホストタウンとして登録されたことを契機に、同国との間で様々な交流を行ってきました。

特に、クラン市とは、都市間交流を進めていくなかで、相互訪問を行うこととなり、今年4月にはクラン市長御一行が本市を訪問されました。

その際、クラン市長から「来年(令和7年)には福井市との姉妹都市提携を実現したい。」との発言があり、また、帰国後にクラン市長から届いた礼状には、「クラン市を訪問された際には、両市の提携に関する覚書を交わし、2025(令和7)年には、姉妹都市協定書にまで引き上げたい。」という旨が記されていました。



そこで、クラン市の実情を把握し、各分野での交流進展の可能性を見極めるため、行政調査団を派遣し、現地調査を行いました。

次のページも CHECK!

特別委員会の委員を選任しました

委員会名	委員名					◎委員長	○副委員長
予 算	◎見谷 喜代三	○下畑 健二	皆川 信正	青木 幹雄	野嶋 祐記		
	奥島 光晴	田中 義乃	玉村 正人	寺島 恭也	山田 文葉		
	酒井 良樹	榊原 光賀	浦上 逸人	高田 稔浩	宮岡 勝也		
	調査項目 各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件						
決 算	◎堀川 秀樹	○菅生 敬一	皆川 信正	野嶋 祐記	堀江 廣海		
	藤田 諭	岩佐 武彦	葛野 早智代	高田 稔浩	佐野 弘		
	調査項目 各会計決算等の審査						

9月補正予算は、新幹線開業後のまちづくりを更に進めていくための取組として、アリーナ構想を見据えた東公園周辺の環境整備に係る事業のほか、路線バスの減便、廃線への緊急的な対応、福祉・保健などの各種施策を推進するための事業、大雨により被災した農地・農業用施設の災害復旧など、予算措置が必要となった事業について計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で4億1,446万5千円、国民健康保険特別会計で3,719万1千円、競輪特別会計で9,243万9千円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,326億1,237万7千円、特別会計で757億5,701万3千円、全会計で2,392億4,391万2千円となります。

- ・ 新幹線開業後のまちづくりを推進する事業
- ・ 東公園・アリーナ周辺環境整備事業
- ・ 県都まちなか再生事業
- ・ 養浩館庭園内サイン多言語化整備事業
- ・ Ⅱ各種施策を推進するための取組
- ・ ふるさと納税返礼品生産強化支援事業
- ・ 路線バス代替交通緊急確保事業
- ・ 障がい者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業
- ・ 地域介護福祉空間整備等補助事業
- ・ 不妊治療支援事業
- ・ 生活保護システム改修事業
- ・ 国民健康保険システム改修事業
- ・ 農地・農業施設災害復旧事業
- ・ 「いのちを守ろう！」木造住宅無料耐震診断・改修緊急事業

主な議案

9月定例会

令和6年度補正予算

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14、15ページに掲載しています。

Ⅰ新幹線開業後のまちづくりを推進する事業

- ・ 東公園・アリーナ周辺環境整備事業
- ・ 県都まちなか再生事業
- ・ 養浩館庭園内サイン多言語化整備事業

Ⅱ各種施策を推進するための取組

- ・ ふるさと納税返礼品生産強化支援事業
- ・ 路線バス代替交通緊急確保事業
- ・ 障がい者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業
- ・ 地域介護福祉空間整備等補助事業
- ・ 不妊治療支援事業
- ・ 生活保護システム改修事業
- ・ 国民健康保険システム改修事業
- ・ 農地・農業施設災害復旧事業
- ・ 「いのちを守ろう！」木造住宅無料耐震診断・改修緊急事業

委員会審査

県都にぎわい創出対策特別委員会



「アリーナ周辺の道路・交通について」

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
委員会終了後に掲載

問 渋滞や混雑が見込まれるが、これを打開するための公共交通の利便性の向上について地元どのような説明しているのか。

クラン市を訪問して...

池上 優徳 議長
スロベニアを訪問するのは2度目になりますが、国民性は勤勉で社会的、また、治安が良く、清潔で美しい国です。
クラン市には「お城がある」、「お酒の文化を大切にしている」、まちなかでは至る所に「あじさい」が咲いているなど、本市との共通点があり、今後、これまで以上の交流に期待が膨らむところです。

酒井 良樹 総務委員会委員長
様々な施設を訪問し、各分野で特色ある取組が進められていることに驚きました。特に、教育現場では、教育方針やカリキュラムなどは、各々の学校に裁量が委ねられていることが印象的でした。
今後も両市間の交流を深め、お互いに学びあっていきたいと感じました。

榊原 光賀 経済企業委員会委員長
いずれの訪問先でも歓迎いただき、福井市との交流に好意的な印象を受けました。
視察先での意見交換では、参考になる点が多くあり、クラン市と友好関係を築いていくことで、本市の発展に繋がる可能性があると感じました。

意向表明書への署名

調査の結果、両市にとって有意義な交流を推進できると判断し、7月3日、クラン市役所にて、議員立会いのもと、両市長が「姉妹都市提携に関する意向表明書」に署名を行いました。
今後、姉妹都市提携の実現に向けて、これまで以上に交流を深めていきます。



広報ふくいも見てネ!

広報ふくい(11月10日号)でもクラン市の特集記事を掲載しています。是非ご確認ください。



人事案件

○固定資産評価審査委員会委員
本年9月30日をもって任期満了となる増田健治氏を引き続き同委員に選任することに同意しました。

人権擁護委員

○人権擁護委員
本年12月31日をもって任期満了となる委員2名のうち、山本利幸氏を引き続き、川上順子氏を新たに、同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

条例

○福井市営住宅条例の一部改正について
市営住宅の申込者のうち優先的に入居者として決定することができる範囲を拡大するものです。

- ・ 競輪場整備事業
- ・ 公営競技納付金
- ・ Ⅲ債務負担行為の設定
- ・ こども相談・子育て支援事業



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、9月9日から11日までの3日間、20人の議員が一般質問を行いました。
※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

- ① 青木 幹雄 (一真会)**
1 まちづくりについて
- ② 寺島 恭也 (一真会)**
1 地域公共交通について
2 中学校における休日部活動の地域移行について
- ③ 奥島 光晴 (新政会)**
1 全国学力・学習状況調査結果について
2 教員の働き方改革について
3 福井市戦没者追悼式について
4 足羽山公園の駐車場対策について
- ④ 堀川 秀樹 (市民クラブ)**
1 福井市の小・中学校における働き方改革の推進の為に、速やかに統合型校務支援システムの導入を求める事について
2 新栄地区におけるまちづくり福井(株)のモデル事業の概要について
3 小・中学生に対するBLS事業の重要性和その運営について
- ⑤ 下畑 健二 (公明党)**
1 アリーナ構想について
2 福井市水道事業について
3 障がい者就労施設への支援について
- ⑥ 今村 辰和 (一真会)**
1 福祉施設の整備支援について
2 能登半島地震における上水道の対応と地震対策について
3 空き家対策と公費解体について
- ⑦ 藤田 諭 (新政会)**
1 アリーナ構想について
2 地域交通について

- ⑧ 高田 稔浩 (市民クラブ)**
1 旧優生保護法の違憲判決をきっかけに変わる社会について
2 共生社会に向けたタウンミーティングの実施について
3 バスの運転士不足による自衛隊との協力体制構築について
4 新型コロナワクチン接種による健康被害について
- ⑨ 宮岡 勝也 (ふくい未来の会)**
1 秋に始まる新型コロナワクチンの危険性について
2 給食の質向上と牛乳の選択制について
3 消防事業の広域化について
4 少子化問題の対策と婚活事業の促進について
5 チラムネのアニメ化とこれからのについて
- ⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)**
1 アリーナ建設の問題点について
2 低所得者へのエアコン購入・修理助成について
3 マイナンバーカードと保険証について
4 公共交通の運転手不足について
- ⑪ 近藤 實 (無所属)**
1 上下水道事業管理者を設置しないことは大問題！
2 財政の健全性について
3 アリーナ構想における行政・民間の資金負担のあり方
4 脱炭素、ゼロカーボンシティへ積極的な取組を！
5 決算認定スケジュールを早めること
6 加茂河原ポンプ場の資本費の一般会計負担分の予算計上について
7 多世帯近居中古住宅取得補助金の打ち切りについて
8 杭州市への行政訪問団は中止して頂きたい
- ⑫ 佐野 弘 (一真会)**
1 元気な子どもたちを育む環境について
2 活躍する企業の応援について
3 元気な農業に向けて

- ⑬ 山田 文葉 (日本共産党)**
1 障がい者の暮らしと報酬改定の影響について
2 医療機関や施設へのコロナ感染対策支援について
3 P F A S (ピーファス) について
4 高齢者へのゴミ出し支援について
5 非核平和都市宣言をしている本市の取組について
- ⑭ 野嶋 祐記 (新政会)**
1 シティプロモーションと広報について
2 地域のコミュニティ維持について
- ⑮ 葛野 早智代 (一真会)**
1 技能継承と若手技能者の育成について
2 福井市技能功労者表彰の広報について
- ⑯ 八田 一以 (一真会)**
1 下水道事業について
- ⑰ 岩佐 武彦 (ふくい未来の会)**
1 アリーナ周辺の整備について
2 愛宕坂の駐車場について
3 本市の水道について
4 鳥獣害対策について
- ⑱ 浦上 逸人 (一真会)**
1 積極的な市政情報の公開について
2 避難所以外の避難者への支援について
3 園芸の担い手への支援及び地域計画の策定について
- ⑲ 菅生 敬一 (公明党)**
1 福井市総合防災訓練について
2 チラムネ福井コラボについて
3 人権施策について
- ⑳ 田中 義乃 (新政会)**
1 福井市都市計画マスタープランについて
2 農産物のブランド化と地理的表示(GI)保護制度について

各議員の一般質問要旨は、8ページから11ページに掲載しています。

総務委員会



《ふるさと納税返礼品生産強化支援事業について》

問 市内の事業者から返礼品の開発などを目的とした事業を公募し、その事業者の設備投資を支援することのことだが、事業者からの応募の見込みはあるのか。

答 今年度、返礼品を提供している事業者のうち数社を対象に現況調査を行ったところ、このような支援事業を望む声があったため、今回の補正予算に計上した。

建設委員会



《路線バス代替交通緊急確保事業について》

問 路線バスの代替交通にはどういった車両の運行を考えているのか。

答 今回代替運行を計画している2路線のうち、茶崎線については中型のバスを、また清水織田線についてはジャンボタクシーをそれぞれ運行する予定である。

教育民生委員会



《工事請負契約の変更について(仮称)新ごみ処理施設建設工事》

問 工事完了後の運営維持管理業務に関する費用も、いわゆる働き方改革等の影響により、建設工事費と同様に増額する可能性があるのか。

答 運営維持管理業務については、当初の委託期間も含め、これから事業者と協議していくことになるが、物価上昇による影響もあることから、請負金額については、現在の見込みよりも増額する可能性はある。

経済企業委員会



《令和6年度福井市競輪特別会計補正予算について》

問 将来、競輪場の大規模改修に多額の経費が必要になると考えるが、現在の経営状況を踏まえた上で、競輪事業の廃止を含め長期計画は策定しているのか。また、策定予定がないのであれば、長期計画の必要性をどのように考えているのか。

答 サイクルシアターのリニューアル工事、また、老朽化が進んでいるバンクの大規模改修工事についての計画は立てているが、長期計画は策定していない。大規模な施設の改修には、その財源を確保することが必要になることから、財源確保の計画と併せて将来的な全体像を見据えた長期計画の必要性についても認識している。

問 現時点で推計したアリーナ周辺の交通量や歩行者流量などを示し、地元説明会において説明した。今後、車両や歩行者の交通に関しては、民間のコンサル等に依頼し、もう少し詳細な検討をしていかなければならないと考えている。また、公共交通自体の総量を増やしていくことは難しいが、公共交通の増発やシャトルバスの運行、パークアンドライドについても具体的に対応を考えていきたい。なお、パークアンドライドには、他市町の協力も必要となってくるのが考えられることから、そういった連携も図っていきたい。

答 現時点で決まっていることとは異なるが、パークアンドライドについては、民間企業に対し駐車場の提供をお願いすることを検討するとともに、バスの乗降に関して、東公園の周辺で、安全かつ周辺の妨げにならないように降りできる場所をシミュレーションしている。

問 パークアンドライドやシャトルバスについて、具体的に決まっていることは何かあるのか。

答 現時点で決まっていることとは異なるが、パークアンドライドについては、民間企業に対し駐車場の提供をお願いすることを検討するとともに、バスの乗降に関して、東公園の周辺で、安全かつ周辺の妨げにならないように降りできる場所をシミュレーションしている。

問 応募した事業者が生産設備を強化することによって、よいものをより早く、より多く生産でき、ふるさと納税の返礼品として寄附者のニーズに対応できるようにすることが大事である。このことに対する今後の見通しやフォーラムについては、どのように考えているのか。

答 応募があった提案内容については、アイデアや返礼品の生産に伴う今後の収益

問 代替交通の運転手はどのように確保するのか。

答 バス会社の運転手不足が原因で当該区間において路線バスが廃止となることから、タクシー会社など、ほかの交通事業者へ依頼することができないかについて、現在、調整しているところである。

要望 当初の請負金額からは相応な増額となる可能性があるため、その場合には、市民への説明を丁寧に行ってほしい。

要望 過去に競輪事業が赤字になった場合どうするのかといった議論もあったが、将来のビジョンについて、しっかりと検討を進めていただきたい。





あおき みきよ 議員
青木 幹雄
一真会

まちづくりについて
社会教育法施行75年

質問

市長の掲げる「福井は楽しい」「福井は安心」「福井は元気」の実現には、保育・子育て・学校教育の更なる充実はもちろんの事、全市民的な社会教育の充実こそ重要である。生涯学習に関わる文化活動、スポーツ活動の取組の現状は。

回答

文化活動については、各公民館で家庭教育や青年教育などの各種社会教育事業を実施しており、令和5年度は2,846回の実施で、延べ5万1,935人の市民が参加した。また、5月1日にリニューアル開館した市立図書館は、地域交流センターを併設し、多くの市民が集い、交流する図書館となっている。
スポーツ活動については、全ての市民が年齢や性別を問わず、生涯にわたってスポーツを「する」「みる」「楽しむ」の視点でスポーツの振興に努めている。市民スポーツ大会の開催や、ふくい桜マラソンにボランティアとして参加するなど、様々な立場からスポーツに関わることが出来る取組を進めている。



てらしま きょうや 議員
寺島 恭也
一真会

地域公共交通について

質問

市民の足となる地域公共交通を本市としてどのように考えているのか。
また、市としてのバス運手の採用や、地域コミュニティバスの福井駅周辺への乗り入れも含め、今後どのようにするのか、所見を伺う。

回答

現在、本市では持続可能な公共交通の確保に向けて、国・県、交通事業者との協議・検討を進めているが、路線の統合や新しい交通の導入を含めた抜本的な見直しが必要であると考えている。
バス運手の採用については、雇用形態や業務内容など多くの課題があるため十分な研究が必要と考えており、現時点では市退職予定者へのあせんで引続き取り組んでいく。
また、地域コミュニティバスの福井駅周辺への乗り入れについては、既存の路線バスとの兼ね合いなど交通事業者と協議すべき課題はあるが、今後、本市の交通ネットワークの最適化を進めていく中で具体的に検討していきたい。



いまむら しんかす 議員
今村 辰和
一真会

空き家対策と公費解体について

質問

本市が把握している周囲に被害を及ぼす危険性の高い空き家の件数や行政代執行で解体した空き家の事例は。代執行を行った場合、公費で負担するのか。また、一般住宅でも建物の所有者が亡くなり相続人全員が相続を放棄した場合、どんな対応を行うのか。

回答

管理不全な状態が解消されず、周囲に被害を及ぼす恐れがあり、解体や改善が必要な空き家は19件で、特定空き家等として認定している。特定空き家等については、継続的な改善指導や、自主的な解決を促していることから、現時点で行政代執行した事例や予定はないが、行政代執行を実施する場合には、空き家所有者から代執行に係る費用を徴取することになる。
また、本市では、相続人がいない等により、改善指導をする相手方が不明な空き家に対処するため、相続財産清算制度による空き家の処分に取り組んでいる。



ふじた さとし 議員
藤田 諭
新政会

地域交通について

質問

交通事業者を取り巻く環境が厳しくなる中で、運転士不足による路線バスの見直しにより、減便、廃線等が続いているが、今回のような大きな路線見直しについて、福井市地域公共交通計画を含め、本市の地域交通の在り方について、どのように考えているのか。

回答

現在、本市では、今後の持続可能な公共交通の確保に向けて、国、県及び交通事業者と協議・検討を進めているが、まずは、バス路線のあるべき姿を目指して、路線の統合や、新しい交通の導入も含めた抜本的な見直しを行うことが必要と考えている。また、本市が策定した地域公共交通計画に掲げる、フィードバックの再編による効率化や多様な輸送資源による移動手段の確保を進めていく。さらには、自動運転といった新技術の活用、他市町の新技術の活用についても研究を重ね、地域の特長に応じた市民の移動手段の確保に努めていく。



おくしま みつはる 議員
奥島 光晴
新政会

足羽山公園の駐車場対策について

質問

足羽山は歴史と四季折々の豊かな自然に恵まれた山で、山頂の公園遊園地はハピジャが整備され、市内外の老若男女の憩いの場となっている。課題は駐車場の不足である。足羽山に整備されている配水池を将来、縮小または移転させ、跡地を駐車場にしてはどうか。

回答

本市では、平成28年度に足羽山魅力向上計画を策定して駐車場等の整備を行い、足羽山公園内の市有地を造成するなどして60台分を増設し、全体で188台分の駐車場を確保している。
足羽山配水池は、老朽化に伴い令和10年度頃をめどに移転が計画されており、その跡地の活用方法については今後の検討課題となっている。配水池周辺には自然史博物館や足羽神社などの施設が集約されているため、足羽山全体の利便性や整備効果等を総合的に勘案した上で、候補地の一つとして、所有者である上下水道局とも協議したいと考えている。



たかだ としひろ 議員
高田 稔浩
市民クラブ

新型コロナウイルス接種の副反応による健康被害について

質問

高齢者の定期予防接種に使用する新型コロナウイルスについて、副反応による健康被害への不安を軽減するため、医療機関ごとに、どのようなワクチンを使用するのか、あらかじめ市民に分かるようにしたほうがよいと思うが、所見を伺う。

回答

10月から高齢者等を対象にした新型コロナウイルスの定期接種を開始するが、ワクチンは各医療機関が調達するものであり、医療機関によって、途中で使用を予定していたワクチンの種類を変更する場合があります。本市において使用するワクチンの種類を把握し、お知らせすることは難しいと考えている。
そのため、使用するワクチンの種類を確認したい場合は、各医療機関に直接問い合わせさせていただくよう周知していく。



ほりかわ ひでき 議員
堀川 秀樹
市民クラブ

教員の働き方改革推進のため、シフトオースの速やかな導入を求める

質問

文部科学省から学校における働き方改革の考え方が示されているが、自分の授業を磨く時間や教職人生を豊かにする心の余裕を持てず疲弊する現状を本市ではどう受け止めているのか。また、改善に向けて現場からシフトオース導入が求められているが所見は。

回答

学校で働く教職員の働き方を改善し、心の余裕を持つことは重要であると考えている。県内でいち早く導入した、本市独自の校務支援用グループウェアは、県の統合型校務支援システム（シフトオース）よりも、勤怠管理や公務文書の作成において優れたものであるが、シフトオースが有する子どもの成績管理の機能を導入できれば、教職員のさらなる事務負担軽減につながるかと考えている。今後も、システムの改変や新たな導入について、県や納入業者と協議を続けていく。



みやおか かつや 議員
宮岡 勝也
ふくい未来の会

秋に始まる新型コロナウイルス接種の危険性について

質問

インフルエンザワクチン接種による死亡認定数は約50年で25件に対し、新型コロナウイルスは、たった約3年で762件である。10月1日に始まる秋接種新型コロナウイルスについては想像できるが、どれだけの被害が出るのか想定しているのか。

回答

新型コロナウイルス接種については、感染症の疫学的な状況や、ワクチンの有効性・安全性等に関する科学的知見等を踏まえ、感染症の広がりを抑えることができる重要な予防的措置として、国において予防接種法に基づく定期接種とする方針が決定されたものである。
ワクチン接種による健康被害の件数を推計することは困難であるが、本市としては、希望される方が、法に基づき接種できるように体制を確保するとともに、健康被害の救済請求があった場合には、速やかに国への申請手続きを行うっていく。



しもばた けんじ 議員
下畑 健二
公明党

安全でおいしい福井市の水更なる周知について

質問

有害性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）が各地の河川や地下水などから国の基準を超えて検出され、問題になっている。福井市の水道水の安全性とおいしさの更なる周知について伺う。

回答

本市の水道事業者は、水質検査の精度と信頼性を保証する水道GLPの認定を取得している全国でも数少ない水道事業者である。将来に渡り安全で安心な水道水を供給するため、水道法で定める水質基準項目全ての水質検査を職員自ら行える体制を整えており、今後も、水質検査技術の向上及び信頼性を確保し、厳格な水質検査に努めていく。
水道水の安全性の周知については、水道GLPの紹介等をはじめ、本市のホームページや公式LINE、上下水道展で行っているところである。これからも安全で安心な水道水を供給し続けるため、持続可能な水道事業の構築にしっかりと取り組んでいく。



すすき しょうじゅ 議員
鈴木 正樹
日本共産党

アリーナに税金投入どこまで？

質問

民設民営のアリーナ建設・運営に多額の税金が使われることに市民から批判が出ている。建設費105億円・毎年の運営費6.9億円から増える可能性は。そして経費が増えるたびに税金投入額が増えるのでは。そうであれば、市民の理解が得られないのでは。

回答

アリーナ基本計画（案）で示された建設費等については、各種調査の実施や事業計画の精査を進める中で内容の一部が見直される可能性を本市が否定することはできない。事業者側で効率的な建設・運営に努めるものと理解しているが、今後さらに経費が増額となる場合には、民間が資金調達するものと考えている。
民間主体を進めるアリーナ構想については、まちなかのにぎわい創出や経済波及効果も含めて検討する必要がある。今後、事業者から提出される収支計画や事業計画を県とともに検証し、支援の妥当性などに検討していきたい。



近藤 實 議員 無所属

杭州市への行政訪問団は中止していただきたい

質問

8月26日、中国軍機による日本の領空侵犯が初めて確認された。林官房長官は「主権の重大な侵害であり日本の安全を脅かすもので、全く受け入れられない。極めて嚴重に抗議する」と述べた。このような状況の中、杭州市への行政訪問団の派遣は行うべきではない。

回答

友好都市提携の意義は、国と国との関係性に関わらず、行政同士が協力関係を築くことで、市民同士が交流しやすい環境を整え、本市の国際化に貢献することと考えている。今回、国と国との問題はあるが、杭州とは良好な関係にあることから、派遣については問題ないと考えている。なお、行政訪問団の派遣については、友好都市の関係の維持・強化を図るために重要であり、今年杭州市にて、市民訪問団と共に提携35周年記念事業を行うことで、今後の活発な市民間交流の後押しとなるよう努めていく。



佐野 弘 議員 一真会

元気な子どもたちを育てる環境について

質問

子どもたちが元気に育つためには、地域全体で子育てを支援する体制の強化や、若年層や女性が安心して働ける環境づくりが不可欠である。本市の子育て支援施策の成果と課題、及び地域資源や特性を活かした施策の強化計画・アイデアについて伺う。

回答

本市では、こどもに関する施策を一体的かつ強力に推進するため、妊娠から出産・子育てまで切れ目なく一体的に相談を行う「こども家庭センター」や子育て親子の交流の場である「地域子育て支援センター」の新設に向けた準備などを進めている。また、私立の認定こども園等の整備支援等を通して、市全域で待機児童ゼロを継続している。さらに、子育て支援策を強化するため、こども未来計画の策定を進めており、本市のもつ特徴や強みを施策に生かせるよう努めていく。



山田 文葉 議員 日本共産党

コロナ集団感染のあった病院等の検査費用は福井市が負担を

質問

コロナは5類移行後も感染を繰り返す、この夏も病院や施設で集団感染がみられている。厚労省は7月「必要性や範囲等を判断しつつ、行政検査を実施していただきたい」としている。集団感染のあった病院等の検査費用は福井市が負担すべき。

回答

行政検査については、3月31日をもって終了するといった国からの通知があったことから、本市の保健所では検査を実施していない状況である。本市の保健所としては、病院や施設内での濃厚接触者等に対し広くPCR検査を行うことよりも、感染対策を講じることや症状のある方を早期に発見して治療につなげることに重点を置いており、行政検査は実施しておらず、現時点で検査費用等の支援を行うことは考えていない。



野嶋 祐記 議員 新政会

地域のコミュニティ維持について

質問

自治会加入の現状はどうか。加入してもらえない原因等は何なのか。加入促進策についてはどのように考えているのか。

回答

自治会加入の現状については、郊外部では加入率が高く、まちなかでは低い状況にあり、ふくい町内会アンケートによると、「加入するメリットがわからない」、「役員になりたくない」などといった理由で加入しない方が多く見られる。加入促進策としては、自治会加入のメリットを周知するため、ポスターの作成・掲示を通じて呼びかけ、不動産業者等と連携した加入勧奨を行っている。また、今年度は新たに、自治会加入を啓発するアニメーション動画をテレビコマーションや福井駅のLEDビジョンで放映する予定である。



葛野 早智代 議員 一真会

技能継承と若手技能者の育成について

質問

6月補正予算に計上された「ふくいの匠」熟練の技に触れる」は、優れた技能と活動経験を持ち、後進の育成や技能の伝承に熱心に取り組んでいる職人の優れた技を直に見て、体験することで、市民が職人の技に関心を持ち、技能の継承及び後継者の育成につなげることを目的として開催するイベントである。内容としては、高度な技を披露する実演コーナーと初心者でも容易にものづくりに取り組むことができる体験コーナーの2つで構成される。

回答

本イベントで、若い世代に技能職という職業の魅力を感じてもらい、技能に関心を持つ若者を増やしていくことで、技能職が将来の職業選択の一つとなればと考えている。



八田 一以 議員 一真会

下水道事業について

質問

東藤島地区は、福井市編入後63年目の今年、公共下水道の整備がほぼ完了した。東藤島地区で公共下水道に移行した世帯の数は、全世帯の何%だったのか。そして、その比率について、本市はどう評価するのか、所見を伺う。

回答

東藤島地区で、公共下水道の供用を開始した区域において汚水ますを設置している世帯は、令和5年度末現在で約92%である。この比率は、他の供用開始地区と比べても遜色ないもので、地区の皆様の理解と協力のもと、概ね計画に沿った設置状況であると考えている。なお、汚水ますが設置されていない世帯への今後の対応についても、引き続き、住民の方々の心情に十分配慮しながら、公衆衛生の向上や環境の保全に寄与する公共下水道の意義について理解を呼びかけ、接続促進に努めていく。



岩佐 武彦 議員 ふくい未来の会

愛宕坂の駐車場確保策について

質問

足羽山の愛宕坂には、歴史の見えるまちづくり事業として愛宕坂茶道美術館と橘曙覧記念文学館の二つの施設が整備されている。今後、どのようにして入館者数を増やしていくのか。また、そのために利用しやすい駐車場が必要だと思いが、どのように確保するのか。

回答

まず、企画展やイベントの開催に加え、両館に興味を持ち、訪れてもらうきっかけづくりが大切と考えている。そのため、DXを活用した情報配信などを今年10月から開始する。駐車場については、イベント等の開催時、臨時駐車場を設けるなど、利用する方の駐車台数の確保に努める。また、愛宕坂登り口に、すまいるバス(西ルート)愛宕坂停留所があることから、可能な限り公共交通機関を利用して来館してもらえらるようイベント開催チラシやホームページ等で引き続き周知していく。



浦上 逸人 議員 一真会

積極的な市政情報の公開について

質問

ホームページでの市の情報提供の在り方については課題や改善点があるように思うが、ホームページに掲載する情報の基準と現状の運用状況を伺う。

回答

また、補助事業など公募を行う事業については、ホームページへの掲載を必須とするべきではないか。



菅生 敬一 議員 公明党

チラムネ福井コラボについて

質問

福井市が舞台のライトノベル「チラムネはラムネ瓶のなか」が来年テレビアニメ化されること決定した。これを機に多くのファンが福井を訪れることが期待される。来年はさらに内容の濃いコラボを引き続き企画してほしいが、いかがか。

回答

テレビアニメ化により、アニメファンを中心とした多くの新規層に作品の魅力が届くことで、ファンの増加が見込まれ、舞台である本市にもこれまで以上に多くの方が訪れると期待している。また、放送前後は、アニメ側のプロモーション等が大幅に増え、作品の露出も多くなることから、コラボ事業を実施するに当たっては絶好の機会と捉えている。来年度の予算編成の中で検討していくが、今後アニメの権利者や民間事業者との調整・マッチングを行うことで、より多くの企画が実現するよう取り組んでいく。



田中 義乃 議員 新政会

福井市都市計画マスタープラン改定の考えについて

質問

福井市の目指すべき都市の将来像や土地利用などの基本方向を明らかにすることも、地域ごとのまちづくりの方針を定める福井市都市計画マスタープランの改定が進められているが、改定に当たり、基本となる考え方について伺う。

回答

現在のマスタープランでは、「暮らしの豊かさを実感できる歩きたくなるまち」を基本理念として掲げているが、前回の改定から社会情勢も大きく変化し、今後も住みよいまちであり続けるためには、誰もが安全・安心に暮らすことができ、多様な人々が出会い、つながる都市づくりを推進していく必要がある。今回の改定では、人の行動の基本である「歩く」視点を継承した上で、「暮らしの楽しさを実感できる歩きつなげるまち」を都市づくりの理念とし、人、まち、自然などが相互につながり、暮らしの楽しさを実感できる都市づくりに取り組みたいと考えている。

予算特別委員会

各会派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

見谷 喜代三
青木 幹雄
神原 光賀
皆川 信正
寺島 恭也
浦上 逸人



9月19日



9月20日

子ども食堂について

問 本市では子ども食堂に対してどのような支援を行っているのか。

答 また、市長ビジョンでは、「社会の宝 子どもを守る！すべての子どもたちが安心して生活できる環境を整備する」と掲げており、そのためには市内の各地域に子ども食堂を設置するべきと考えるが、いかがか。

答 子ども食堂をはじめとする子どもの居場所づくりに取り組み団体への支援については、今年度の6月補正予算で支援の拡充を行った。具体的には、従来の補助対象である子ども食堂や学習支援の取組に加え、体験型学習も補助の対象とし、月に2回以上実施した場合、1か所当たり最大で年間100万円を補助するなど、補助額を昨年度から倍増させた。

その結果、本市の補助制度を活用し子ども食堂を実施する団体数は11から17に増え、実施場所も14か所から31か所に大幅に増加した。このことにより、本市が「子ども・子育て支援事業計画」において区分している市内13区域のすべてで、子ども食堂が実施されることとなった。

また、今後は本市の補助を受けた子ども食堂の団体で構成するネットワーク会議の中で、運営上の意見や実態を聞きながら、本市の取組に生かしていきたいと考えている。

国道8号の渋滞解消について

問 本市の交通道路事情を鑑みると、福井外環状道路などの他の事業に先駆けて、最も優先すべき課題と考えるが、市はどのように認識しているのか。

答 国道8号の本市市街地のほぼ全域で、慢性的な渋滞が発生しており、地域の産業振興や市民生活に大きな支障をきたしていることから、国道8号の抜本的な渋滞対策を、本市の重要要望の中でも特別重要要望事項の一つとして位置付けている。

要望 朝晩国道8号を利用するトラックには、高速道路へ迂回してもらおうといった場合の利用料金について試算を行うなど、様々な角度から渋滞解消に向けた方法を検討した上で、この問題への対応を考えてほしい。



市民クラブ

玉村 正人
高田 稔浩
酒井 良樹



9月19日



9月20日

教育予算の充実について

問 全児童・生徒にタブレット端末が配備され、デジタル技術を利用した授業が推進されているが、学習者用のデジタル教科書や指導者用のデジタル教科書の整備については、今年度予算対応されているのか。

答 学習者用のデジタル教科書のうち、英語については国の財源により整備されるが、算数・数学については、小・中学校数の半数分が国の財源により整備される。残りの学校については、希望に同じ、また、その他の教科についても、各学校の希望に応じて、県の財源により整備される。

また、指導者用のデジタル教科書については、整備を希望する学校に対しては、公費により整備しており、各学校からの要望や指導者用デジタル教科書の有効性など教科の特性をしっかりと見極めながら進めているところである。来年度、中学校の英語と数学については、新たな指導者用のデジタル教科書が整備される予定であり、それ以外の教科についても、整備を希望する学校に対しては、できる限り整備を進めていく。

望する学校に対しては、すべて市の財源で整備している。

問 指導者用のデジタル教科書は、授業の質の向上に大変有効であると学校現場では評価されているが、英語及び算数・数学以外の教科の指導者用デジタル教科書の整備については、どのように進めているのか。

また、公費では対応してもらえないものもあると聞いているが、どのように対応しているのか。

答 指導者用デジタル教科書については、希望する学校すべてに対し、公費により整備しており、各学校からの要望や指導者用デジタル教科書の有効性など教科の特性をしっかりと見極めながら進めているところである。来年度、中学校の英語と数学については、新たな指導者用のデジタル教科書が整備される予定であり、それ以外の教科についても、整備を希望する学校に対しては、できる限り整備を進めていく。

要望 学校の要望をしっかりと聞いて、十分な予算措置を行ってほしい。

新政会

野嶋 祐記
田中 義乃
奥島 光晴



9月19日



9月20日

アリーナ構想について

問 今後、具体的な事業計画が示されると聞いているが、本市や行政の負担を含め、建設や運営にかかる精度の高い資金計画は、いつ示されるのか。

答 現在、事業者側で各種調査の実施や事業計画、収支計画の精査を進めている段階である。国の交付金申請時期が年明けに控えていることや、県、市による検証期間を鑑みると、今年11月頃には詳細な事業計画や収支計画が事業者側から示されるものと認識している。また、これらの計画において、整備にかかる国、県、市の支援や市民利用についての大枠が示されるものと考えており、県とともに精査、検証していきたい。



問 その精査、検証とはどういうことを行うのか、また我々議会にその内容や結果をどのように伝えてもらえるのか。

答 精査、検証については、専門家を交え、建設計画ならびに今後30年間の事業計画や収支計画について、しっかりと実施していけるものがあるかを見極めていく。また、本市が得た情報については、その都度、市民や市議会にも説明しながら進めていきたい。

公明党

下畑 健一



9月19日



9月20日

いじめ・不登校対策について

問 いじめが原因で教室に入ることができない児童や生徒の受入れ策として、県が各小・中学校に校内サポートルームの設置を進めているとのことだが、この校内サポートルームではどのような内容の学習を行っているのか。また、校内サポートルームについて、本市では運営マニュアルがあるのか。

答 本市独自のマニュアルは作成していないが、校内サポートルームを設置する際には、学習指導を中心としながらも、児童や生徒の状況に応じて可能な限り、調理実習やイベントの企画といった体験活動を取り入れるよう指導している。

市民クラブ

玉村 正人
高田 稔浩
酒井 良樹



9月19日



9月20日

教育予算の充実について

問 全児童・生徒にタブレット端末が配備され、デジタル技術を利用した授業が推進されているが、学習者用のデジタル教科書や指導者用のデジタル教科書の整備については、今年度予算対応されているのか。

答 学習者用のデジタル教科書のうち、英語については国の財源により整備されるが、算数・数学については、小・中学校数の半数分が国の財源により整備される。残りの学校については、希望に同じ、また、その他の教科についても、各学校の希望に応じて、県の財源により整備される。

また、指導者用のデジタル教科書については、整備を希望する学校に対しては、公費により整備しており、各学校からの要望や指導者用デジタル教科書の有効性など教科の特性をしっかりと見極めながら進めているところである。来年度、中学校の英語と数学については、新たな指導者用のデジタル教科書が整備される予定であり、それ以外の教科についても、整備を希望する学校に対しては、できる限り整備を進めていく。

望する学校に対しては、すべて市の財源で整備している。

問 指導者用のデジタル教科書は、授業の質の向上に大変有効であると学校現場では評価されているが、英語及び算数・数学以外の教科の指導者用デジタル教科書の整備については、どのように進めているのか。

また、公費では対応してもらえないものもあると聞いているが、どのように対応しているのか。

答 指導者用デジタル教科書については、希望する学校すべてに対し、公費により整備しており、各学校からの要望や指導者用デジタル教科書の有効性など教科の特性をしっかりと見極めながら進めているところである。来年度、中学校の英語と数学については、新たな指導者用のデジタル教科書が整備される予定であり、それ以外の教科についても、整備を希望する学校に対しては、できる限り整備を進めていく。

要望 学校の要望をしっかりと聞いて、十分な予算措置を行ってほしい。

日本共産党

山田 文葉



9月19日



9月20日

子ども医療費の窓口無償について

問 来年1月から、本市でも子ども医療費の一部負担金を廃止することとなった一方で、本年6月26日には厚生労働省から窓口負担の復活を促す新たな通知が出された。このことは子ども医療費の窓口負担無償化を進めている自治体への圧力となっていると考える。市長は子どもを中心とするまちづくりを推進しているが、本市では、この通知を受け、窓口負担を復活させることは考えていないのか。

答 子ども医療費については、現在、高校3年生相当までを対象に助成を行っており、小学生以上の児童生徒には、入院日額500円、通院1医療機関ごとに月額500円の自己負担をお願いしている。この自己負担金について、子育て世帯へのさらなる経済的支援の強化のため、来年から無償化することとし、本年6月定例会で議決をいただいた。現在、令和7年1月1日からの窓口無償化に向けて、システム改修や医師会審査機関への周知を行うなど、準備を進めているところである。今後は市民に対してもしっかりと周知を行うなど、円滑なスタートに向けて万全を期していく。

(9月定例会) 議案等の審議結果

(9月定例会) 請願・陳情の審議結果

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 ※原則、議長（池上優徳）は採決に加わりません。

議員投票結果表。各議員の賛否が示された表。

議長の動静(令和6年7月～9月)

議長の動静スケジュール表。

定例会外の議会日程(令和6年7月～9月)

定例会外の議会日程表。

9月定例会

9月定例会の開催スケジュール表。



今年度は熱中症対策として、午前中にプール開放を行った。7月22日から8月10日までの日曜日を除く18日間に、49校で延べ160回のプール開放を予定していた中、実績としては17日間に延べ148回の開放を行い、利用者数は4,194名であった。

今年度は新たな方法でプール開放を行ったとのことだが、開放日数や利用者数の実績はどのくらいだったのか。

夏休みの学校プール開放について

宮岡勝也 ふくい未来の会 9月19日 9月20日

(9月定例会) 議案等の審議結果

9月定例会の議案審議結果表。



第71回 福井フェスティバル
「民踊大会」に参加しました






昨年引き続き、『福井市役所・市議会チーム』として民踊大会に参加しました。浴衣に着替えると、お祭り気分が最高潮になるのは不思議なものです。会場となる福井駅前電車通りは、MINEのオープンにより昨年以上に活気にあふれ、DJの音が場を盛り上げるなか、市長の登場とあいさつのパフォーマンスにより会場は大盛り上がり！！その後も踊りの輪に入ってください、祭りは大成功に終わりました。福井のますますの盛り上がりを確認しました。

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
県都にぎわい創出対策特別 委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

ふくい市議会だよりの変化にお気付きになられたでしょうか。

市議会だよりを読んでいただくにはどうすればよいか、議論を重ね、多くの方の目に留まるよう、表紙のデザインを大きく変更しました。オシャレな表紙になったと思いませんか？もし、表紙が気になって手に取っていただいた方がいらっしゃったなら嬉しいです。

これからも、市民の皆様にも、議会に関心を持っていただくきっかけとなるような誌面づくりに取り組んでいきます。(編集委員 宮岡、佐野)

次回は12月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

